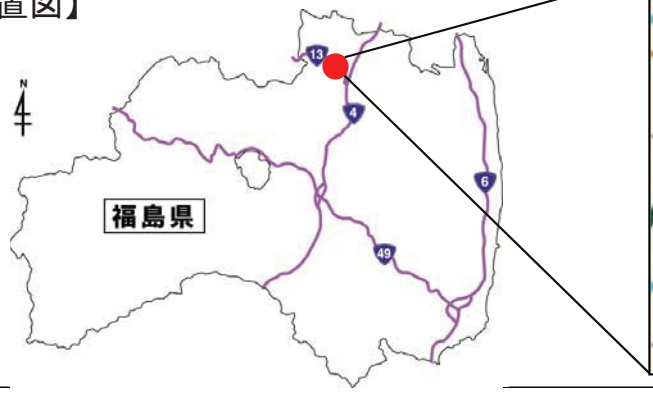
一般国道13号

トラックターミナル入口交差点の事故対策

（平成27年3月対策済）

各種事故対策の実施により、
①死傷事故が未発生（2.7件/年→0件/年）
②急ブレーキの発生回数が約４割減少

【位置図】





整備前



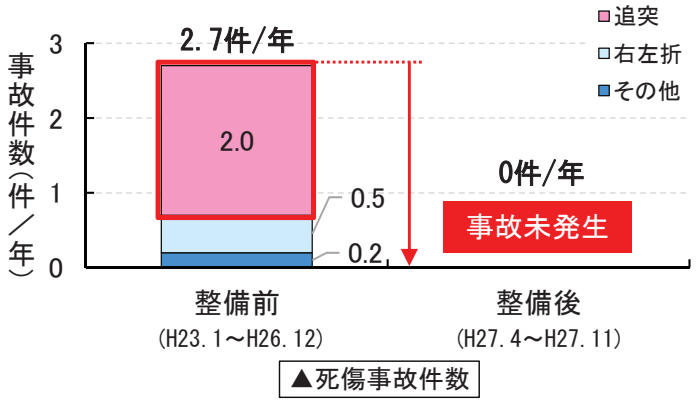
・交差点前後が直線区間のため速度が出やすく、追突事故が発生

整備後



・注意喚起路面標示のカラー化により、ドライバーの注意意識が向上

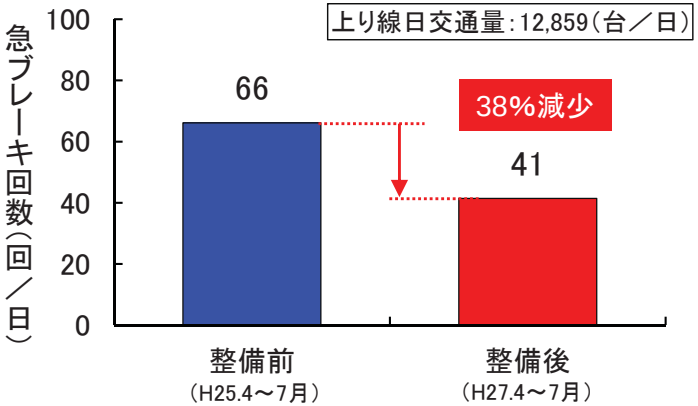
各種事故対策の実施により 死傷事故が未発生



▲死傷事故件数

※H22～H25イタルダデータ、H26～H27福島県警察事故原票データ

各種事故対策の実施により 急ブレーキの発生回数が減少



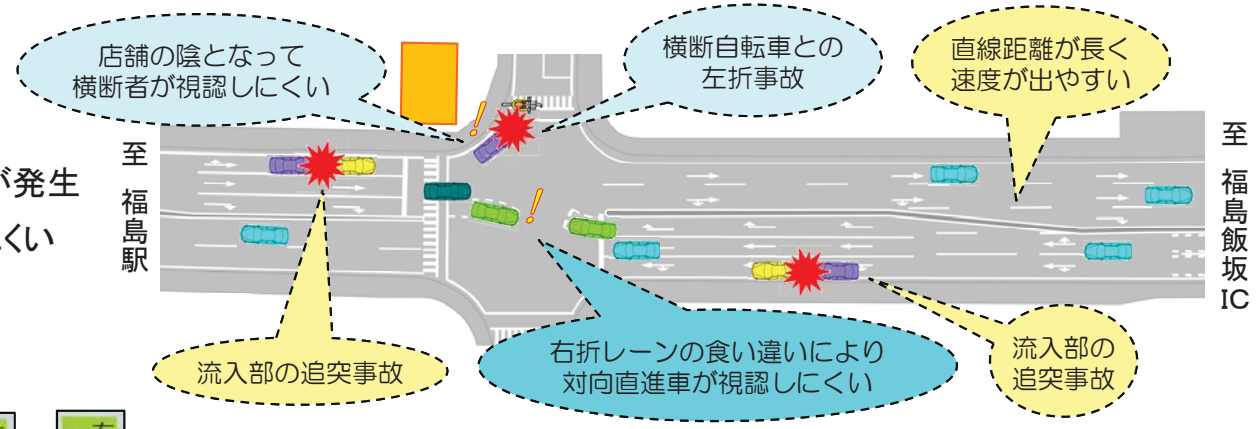
▲日交通量あたりの急ブレーキ発生回数

※民間プローブデータ（上り線側）、H22交通センサス（上り線側）

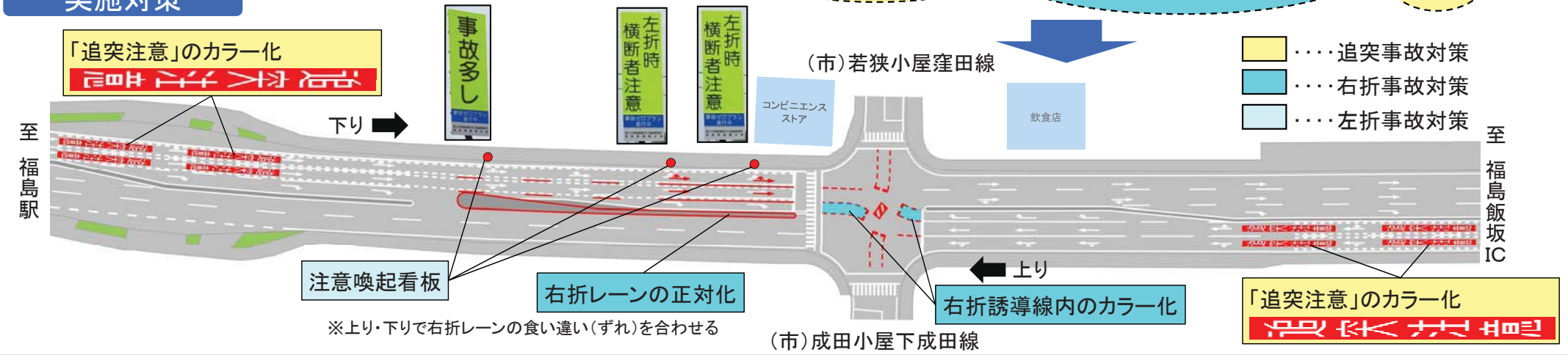
実施対策 ～追突事故･右左折事故の対策を実施～

整備前の問題点

- 前後が長い直線区間であり、速度が出やすく追突事故が発生
- 右折レーンの食い違いにより、対向直進車の確認がしにくい
- 左折時に店舗の陰となって横断者が視認しにくい
  ※H18年12月死亡事故発生



実施対策

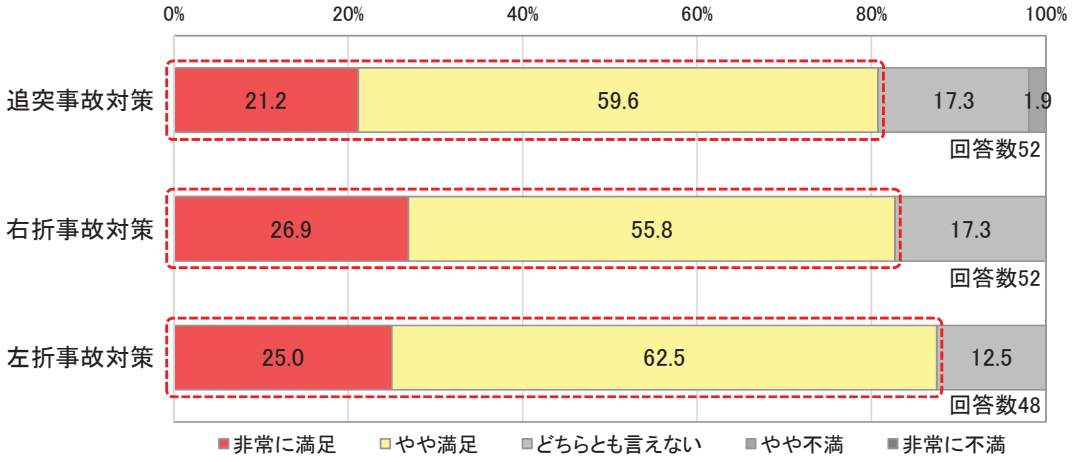


※上り･下りで右折レーンの食い違い（ずれ）を合わせる

その他の実施効果

■ドライバーの8割以上が、追突･右左折事故対策に満足

事故対策の満足度



【一般ドライバーの声】

- 追突注意の表示を見て，スピードに気をつけるようになった。
- 交差点で対向車線をはみ出すことなく行き過ぎることなく、無理なく右折することができるようになった。
- 右折ラインがわかりやすい。
- 飯坂方面から右折することがあるが、対向車が見やすくなったと感じる。
- 左折時横断者注意の看板が目立って、注意するようになった。

※H27一般ドライバーWEBアンケート